

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

国立公文書館	
分類	
	送 赤
配架 番号	3 A
	14
	52-6

教育總監部狀況説明資料

昭和
二〇
九
〇
教育總監部

国立公文書館	
分類	
配架番号	52-6

WJc352087

WASHINGTON DOCUMENT CENTER		No. 352087	
SHIPMENT No.	DOCUMENT No.	19 SEP 1946	
ATIS		1	(DATE IN)
JICPOA			(WHERE FOUND)
CBI			(DATE FOUND)
SEATIC	1502 12/7		
SHAEP			
AFHQ MED.		NAVY	ARMY
CLASSIFICATION	Disposition		

Gap

10-43008-2

監部狀況説明資料

昭和
育和
總二
監〇
部九
部〇

国立公文書館	
分類	
配架番号	52-6

WDC 352087

目次

第一、教育總監、任務及總監部、編成概要

一、教育總監、任務

二、教育總監部、編成及業務、概要

第二、軍隊教育

一、軍隊教育體系

二、教育一般要領

三、各兵種、教育、特質

四、各實施學校

五、調查研究

六、教育資料、編纂

第三、補充教育

一、補充教育

二、補充學校

三、詮衡要領

別紙第一 教育總監部、編成及業務、概要

別紙第二 實施學校、編成及任務、概要

別紙第三 特別甲種幹部候補生、教育狀況、概要見表
甲種幹部候補生

別冊 昭和二十年度實施學校集合教育實施要領

第一 教育總監、任務及總監部、編成概要

一、教育總監、任務

教育總監、天皇ニ直隸シ陸軍軍隊教育ノ進歩ヲ圖リ教育

總監部ヲ統轄シ隸下學校及陸軍將校生徒試驗委員ヲ管轄ス

二、教育總監部、編成及業務、概要

教育總監部、編成及其業務、概要別紙第一ノ如シ

第二 軍隊教育

一、軍隊教育体系

軍隊教育、統率系統ニ基キ實施ス而シテ其ノ齊一進歩ヲ圖ル為軍

司令官、師團長及之ニ準ズル指揮官、教育總監、區處ヲ受ク

ノ軍隊ニ於ケル教育ニ關スル各官ノ職責

1. 軍司令官

教育ニ關シ所與指示ヲ為シ部下軍隊ノ教育ヲ監督指導ス

只師團長

練成の方針特ニ教育上之重點ヲ明示シ部下軍隊ノ教育ヲ監督指導シ又自ラ部下ヲ訓練シ以テ師團ヲ練成ス

旅團長

部下軍隊ノ教育ヲ監督指導ス

二聯隊長

聯隊ノ教育全般ニ亘リ企圖ヲ定メ部下ノ行フ教育ヲ監督指導シ又自ラ部下ヲ訓練シ以テ聯隊ヲ練成ス

ホ大隊長

聯隊長ノ意圖ニ基キ部下各中隊ニ於ケル教育ヲ監督指導シ又自ラ部下ヲ訓練シ以テ大隊ヲ練成ス

ハ中隊長

部下ヲシテ軍人タルノ性格ト兵種本然ノ技能トヲ具備セシメ中隊ノ團結ヲ鞏固ニシ以テ中隊ヲ練成ス

二機甲本部長及各兵監

教育總監ノ命ヲ承ケ其ノ主管ノ事項ニ付當該兵種ノ部隊ヲ査閲シ之ニ關スル意見ヲ當該部隊長ニ訓示シ又講評ヲ行ヒ且其ノ成績ヲ教育總監報告スルト共ニ關係長官ニ通報シ當該兵種ノ教育進捗ニ資ス

三各實施学校

教育總監(機甲本部長、各兵監)ニ隸屬シ學生ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及セシメ以テ當該兵種教育ノ進歩ヲ圖ル

二、教育一般要領

八、平時教育

専ら戦時ノ要求ヲ基礎トシ概テ左記要領ニ據リ實施ス

(1) 一般教育

一般教育ノ目的ハ各級幹部及兵ヲ訓練シテ以テ精銳ナル軍隊ヲ練成スルニ在リ

而シテ一般教育ノ為教育年度(毎年十一月一日ヨリ翌年十一月三十日)ヲ概テ三期ニ分チ第一期ニ於テハ主トシテ基礎ノ教育ヲ、第二期以降ニ於テハ主トシテ部隊訓練ヲ實施シ年度末迄ニ部隊本然ノ教育ヲ完成ス

九、幹部教育

一般教育ノ進度ニ伴ヒ指揮技能ヲ演練シ併セテ教育技能ノ向上ニ勉ム

十、兵教育

兵教育ハ本業教育及特業教育ニ分ツ

本業教育ハ本業基本教育ト本業練成教育ニ分ツ前
者ニ在リテハ初年兵ニ對シ古年兵ニ伍シ戰斗及戰時ノ諸
勤務ヲ遂行シ得ルノ能力ヲ附與スルモノトシ其ノ期間ハ概
ネ五ヶ月ニシテ兵種(例ハ通信兵)ノ特性ニ依リ七ヶ月ニ及ブ
モノアリ後者ニ在リテハ既得ノ技能ヲ應用ノ能力ヲ鍊磨
シ確乎タル自信ヲ以テ困難ナル狀況ニ處シ独斷能ク機
宜ニ適スル動作ヲ爲シ得ルニ至ラシム其ノ期間ハ本業基
本教育終了後ヨリ教育年度末迄トス

特業教育ハ特業基本教育ト特業練成教育ニ分テ
前者ニ在リテハ特業修業者ニ對シ特業者タルニ必要ナ
ル基礎ノ伎倆ヲ修得セシメ後者ニ在リテハ特業者ニ對シ
所要ノ補綴ヲ加ヘ盡シ既得ノ技能ヲ熟達セシム

ロ特別教育

α將校教育

軍隊ノ模範タルニ必要ナル性格徳操ヲ涵養シ學識技
能ヲ鍊磨ス

乙士官候補生在隊間ノ教育

軍隊ノ實情ヲ明カニシ階級ニ相當スル勤務ヲ實習
シ且陸軍中隊科士官學校及陸軍士官學校教育ニ連
繫シ其ノ學術ヲ鍊磨シ他日將校タルノ性格技能ヲ具
備セシム

丙在隊下士官教育

幹部タルニ必要ナル性格徳操ヲ涵養シ且實務ニ關
スル學識技能ヲ鍊磨シ以テ其ノ職責ヲ完全ニ遂行セシ
メ能ク將校ニ於ケル向上化達ノ素地ヲ附與ス

α下士官候補生教育

初級下士官タルニ必要ナル學識技能ヲ具備セシメ且之ニ

将来発達ノ素地ヲ與フ

本教育ハ本業基本教育終了後ヨリ之ヲ開始シ第三年度
末ニ完成スルモノトス而シテ第一年度ノ教育ハ軍隊ニ於テ
第三年度ノ教育ハ主トシテ軍教育隊等ニ於テ實施ス

七 幹部候補生教育

本業基本教育終了後ヨリ概ネ一年間初級尉官又ハ初級
下士官タルニ必要ナル事項ヲ教育ス即チ前者ヲ甲種、
後者ヲ乙種トシ之ガ区分決定後甲種幹部候補生ニ在リ
テハ陸軍予備士官学校又ハ實施学校幹部候補生隊ニ
於テ乙種幹部候補生ニ在リテハ依然軍隊ニ於テ教育ヲ受
施ス

二 戦時教育

戦時教育ハ作战上ノ必要ヲ基礎トシ課目ノ輕重本末ヲ究メ且
緩急ヲ考慮シ特ニ戦場必須ノ事項ヲ十分心得セシメ進ンデ

應用能力ヲ鍊磨ス

一 留守隊教育

幹部及兵ニ對シテ軍人精神及軍紀ヲ涵養シ速ニ戦場
必須ノ事項ヲ教育シ軍事上ノ戦術及戦時ノ勤務ヲ遂行シ
得ヘキ能力ヲ附與増進ス教育ノ實施ハ補充元々各種教育
ノ状況ヲ考慮シ平時教育ニ準シテ期ノ區分ヲ設ケ課目進
度ヲ定メ整理タル教育ヲ實施スルニ勉ム但シ本業基本
教育ノ期間ハ最小限ニ壓縮セラルコトアリ

二 戦地教育

戦時ニ於ケル教育ハ状況特ニ軍隊ノ任務、後進、配置等ニ
依リ差異アルモ現下ノ作战ニ應スル教育ヲ行フヲ主眼トシ
從ヒテ将来ニ互ニ作战ノ要求ヲ考慮シ之ガ準備ノ教育ヲ
行フ

教育ノ實施ニ要領ハ概シテ平時教育ニ準スルモ戦場必須ノ

教育ニ重點ヲ指向ス

3. 検閲

聯隊長(独立大隊長以下ノ場合)ハ軍隊教育ノ成績ヲ檢シ其進歩發達ヲ促ス爲定メラレタルトコロニ依リ検閲ヲ實施ス軍司令官、師団長、旅團長ハ隨時隷下軍隊ノ検閲ヲ實施ス

三、各兵種ノ教育上ノ特質

歩兵

歩兵ハ軍ノ主兵トシテ教育總監統轄ノ下各統率系統ニ基キ教育ヲ實施ス

又其ノ他ノ兵種

其ノ他ノ兵種ノ教育ハ統率系統ニ基キ教育ヲ實施スルノ外當該兵種専門事項ニ関シテハ機関本部部長及當該兵種ノ區處ヲ受ク

四、各實施學校

1. 各實施學校ノ編制及任務ノ概要別紙添ヘシ
2. 昭和三年年度ニ於テ實施セシ集令教育別冊ノ如シ

五、調査研究

師団以下ノ戦斗法及戦技ノ調査研究ヲ實施ス

各兵種専門ノ事項ニ関シテハ各實施學校ノ研究部ノ行フ調査研究ヲ統轄シ諸兵共通事項ニ関シテハ總監部ノ主催ノ下ニ所要ノ主任者ヲ集メ實施セリ而シテ其ノ内容ニ関シテハ劣弱ナル編成表備フ以テ戦斗法ナルヲ以テ特ニ説明スルノ價值アル事ノ項ナシ

六、教育資料ノ編纂

調査研究ノ結果軍隊教育ニ必要ナル事項ハ通時典範令又參考書ニ編纂シ出版ス
主要ナル典範令ヲ如シ

作戦要務令

陣中勤務並ニ師団ヲ基準トスル諸兵種協同戦斗ノ原則ヲ記述シ軍隊ノ教育訓練及戦場行動ノ準備ト爲ス、

各兵種操典

作戦要務令ノ戦斗原則ヲ安易行スル爲各兵種ニ必要ナル制式、法則並ニ高次兵種獨特ノ戦斗原則ニシテ作戦要務令ニ記述シ難キモノニ関シテ記述ス

3. 教範

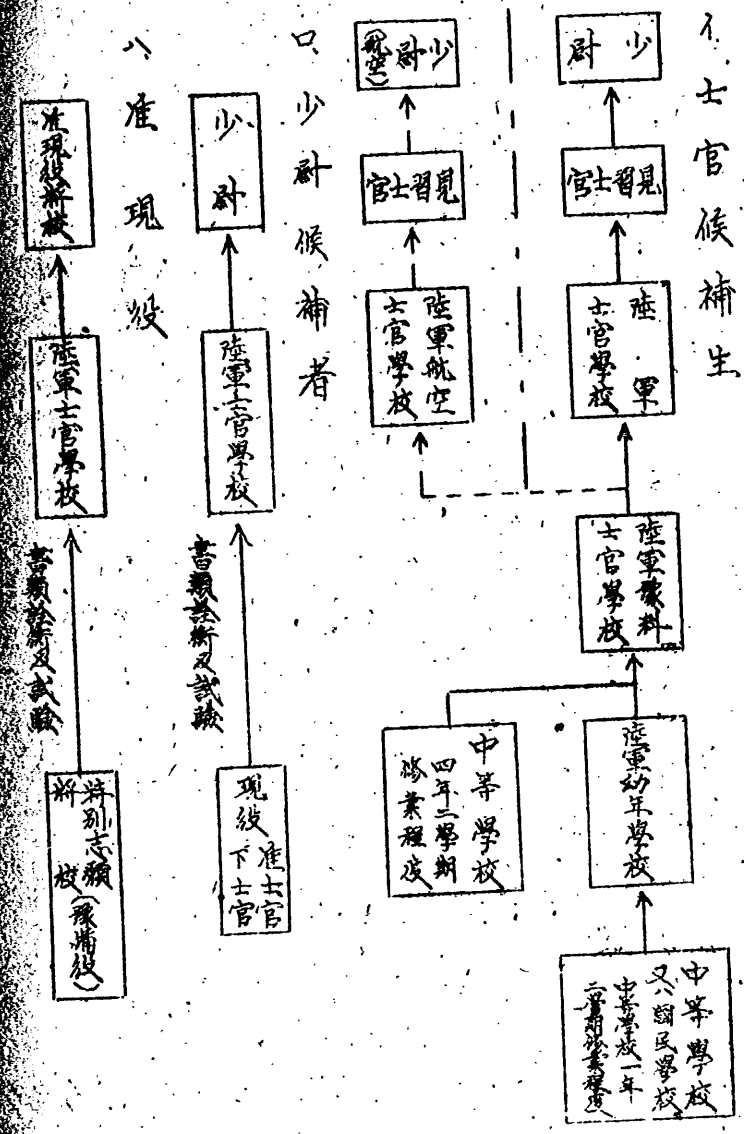
作戦要務令及操典ニ基ク細部ノ教育訓練ノ方法ヲ規定シ又ハ細部ノ技術ニ互ル事ノ項ヲ記述ス

第三 補充教育

一 補充教育体系

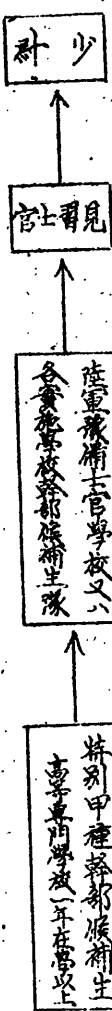
現役將校

士官候補生

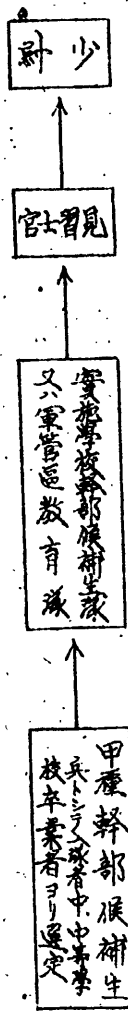


2. 豫備被昇校

1. 特別甲種幹部候補生



2. 甲種幹部候補生



3. 現役下士官

1. 軍管区教育隊

歩兵及砲兵関係ノ現役下士官ト爲スベキ下士官候補者ヲ教育スルトコロニシテ修學期間ハ概テ一年トス

幹部候補生ノ採用數増ニ伴ヒ下士官候補者ノ教育ヲ停止シ幹部候補生教育ニ轉換ス

口 實施學校(歩兵砲兵ヲ除ク)下士官候補者隊

將科(砲兵ヲ除ク)兵種ノ現役下士官ト爲スベキ下士官候補者ヲ教育ス

ハ 少年生徒諸學校

戰車砲兵及高射砲兵等ノ特殊ノ技能ヲ必要トスル現役下士官ハ左記學校ニ於テ教育シ修學期間ハ概テ二年トス

ア 戰車 陸軍少年戰車兵學校 (西富士)

イ 砲兵 陸軍野戰砲兵學校生徒隊 (四街道)

ロ 陸軍重砲兵學校生徒隊 (三保)

エ 高射砲兵 千葉陸軍高射學校生徒隊 (千葉)

オ 通信 東京陸軍少年通信兵學校 (村山)

カ 村松陸軍少年通信兵學校 (村松)

ニ 補充學校

1. 現役ノ部

イ 陸軍幼年學校

ア 所在地 東京 仙台 名古屋 大阪 廣島 熊本

イ 編制 本部 訓育部 (本部員) 教授部

C. 修學期間 三年

α 教育

教授部ハ普通學ヲ訓育部ハ術科及軍事學ヲ教育シ共ニ精神教育ヲ基調トス
普通學ハ一般中等學校ノ科目及程度ト大差ナキモ外國語ハ独逸佛英ノ内一語ヲ課ス
訓育部教育ハ教練制ヲ採ル主トシ游泳山地訓練實習現地訓練滑空訓練(三年ノミ)
等ヲ附加シ軍事學ト共ニ豫科士官學校生徒タルベキ基礎ノ教育トス
教練ノ程度ハ第三學年末期ニ於テ步兵分隊長ノ動作ヲ略シ完全ニ要求シアリ

β 陸軍豫科士官學校

α 所在地 埼玉縣朝霞

α 編制 本部 生徒隊(本部及三十二中隊) 教授部 馬術部 材料廠

α 修學期間 正現二年ナルモ近將短期教育トナリ概ネ一年半以下ヲ通常トセリ

α 教育

教授部授業科目ハ一般中等學校ニ準ケルモ程度ヲ向上シ概ネ高等專門學校ニ準ス
語學ハ英支露ノ内一トス

α 航空生徒

生徒隊ノ教育科目ハ概ネ幼年學校ニ準スルモ若干程度ヲ向上且馬術ヲ加フ
教練ノ程度ハ步兵分隊長ヲ完全ニ教育ス

航空兵トナルベキ生徒ハ二年二回(四月十月)入校セシメ一年教育ヲ以テ航空士官
學校ニ進學セシム

教育ハ概ネ地上生徒ニ準スルモ航空ノ特性ヲ考慮シテ教育ス

ハ 陸軍士官學校

α 所在地 神奈川縣空間

α 編制 本部 生徒隊(本部及十二中隊) 教授部 馬術部 材料廠

α 修學期間 正現二年ナルモ近次短縮セラレ近將概ネ一年半ナリ

補充令ニハ豫科士官學校卒業後通常豫科勤務(約六ヶ月)ヲ實施スル
如ク定メラレアルモ第五十九期生徒(現在古期生徒)ヨリ是ヲ省略
シ直接士官學校ニ入校セシメ當初二一四ヶ月ヲ兵種別教育トス

α 教育

教授部課長ハ陸軍軍學科ニシテ戰術及之ニ關聯スル軍事補助學ヲ教育ス

戰術ハ各當該兵種戰術單位部隊ノ運用ニ就キ原則圖上現地戰術ニヨリ深刻ニ教育スルト共ニ諸兵連合部隊ノ運用ニ就キ概要ヲ教育ス

生徒隊教育課目ハ各兵種毎ノ小隊長ノ動作ヲ完全ニ中隊長ノ動作ヲ略シ完全ニ教育スル外概テ豫科士官學校ニ準テ

兵種ハ歩隊甲野砲山砲野戰重砲重砲迫撃砲工通信鐵道船舶編重トス

2. 豫備校ノ部
陸軍豫備士官學校

a. 所在地 仙台 前橋 豊橋(第一第二) 津山 久留米(第一第二)
b. 編制 本部 生徒隊

生徒隊ハ仙台(步兵)前橋(歩砲兵)豊橋第一(歩砲工兵)豊橋第二(步兵)津山(歩工兵)久留米第一(歩砲工通信兵)久留米第二(編重兵)アリ

c. 修學期間 規定ハ一年ナルモ戰事中九ヶ月トナレリ

52-6

352089

教育總監部狀況説明資料別冊

昭和二十年度實施學校集合教育實施要領

其、一	陸軍歩兵学校
其、二	陸軍戦車学校
其、三	陸軍騎兵学校
其、四	陸軍野戦砲兵学校
其、五	陸軍重砲兵学校
其、六	陸軍高射学校
其、七	陸軍工兵学校
其、八	陸軍通信学校
其、九	陸軍輜重兵学校
其、十	陸軍機甲整備学校
其、十一	陸軍習志野学校

備考、本實施要領は昭和十九年十一月に於て昭和二十年年度前半期ヲ
計畫シ爾後概ネ一月ヲ劃シ逐次計畫セシモノナリ

陸軍歩兵學校集合教育實施要領

種類	期間		時
	(週)	(員)	
隊長	3	10	12
			11
			10
			9
			8
			7
			6
			5
			4
			3
			2
			1

其ノ七 陸軍工兵学校
 其ノ八 陸軍通信学校
 其ノ九 陸軍輜重兵学校
 其ノ十 陸軍機甲整備学校
 其ノ十一 陸軍習志野学校
 備考、本實施要領ハ昭和十九年十一月ニ於テ昭和二十年年度前半期ヲ
 計畫シ爾後概ネ一月ヲ劃シ逐次計畫セシモノナリ

陸軍歩兵學校集合教育實施要領

種類	(週)間期	(名)員人	時期							
			1	2	3	4	5	6	7	8
要員	約3	約20	↑			↑	↑		↑	↑
大隊長	約3	約70	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
要員	約3	約10		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
中隊長	約3	約40	↑		↑					
中隊長	約3	約40		↑						
作業中隊長	約3	約70		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
通信學士	約3	約60	↑		↑	↑	↑	↑	↑	↑
機關砲中隊長	約4	約40		↑						
中隊長	約3	約40			↑	↑	↑	↑	↑	↑
三七戰車要員	約2	約70					↑	↑	↑	↑
要員	約2	約50		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
軍大教官	約3	約20	↑		↑	↑	↑	↑	↑	↑

一 期間時期ハ狀況ニ依リ若干變更スルコトアリ
 二 人員ハ一回ノ數トシ若干増減スルコトアリ

備考

其ノ二

陸軍戰車學校集合教育実施要領

種 類	期 間 人 員		戰 車 隊 長 要 員	砲 戰 車 要 員	砲 戰 車 見 習 士 官 教 育	通 信 學 生	砲 戰 車 通 信 學 生	砲 戰 車 信 學 生	砲 戰 車 中 隊 長	備 考
	通 期	人 員								
	約10日	約10	約2	約2	約2	約2	約2	約2	約2	一期間時期状況依り若干変更スルトアリ
	12	時								
	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									

其
三

陸軍騎兵學校集合教育実施要領

備考	作業隊長	作業中隊長	連隊學生	種類	時期
	月 約60	月 約30	月約15	月間 人員	
一、期間時期ハ狀況ニ依リ若干変更スルコトアリ 二、人員ハ一回ノ數トシ若干増減スルコトアリ				1	時
				1	
			↑	2	
			↓	3	
				4	期
				5	
				6	
				7	
	↑ ↓	↑ ↓		8	
				9	

第四

陸軍野戰砲兵學校集合教育実施要領

要 要	隊 長	約 要	種 類		人
			間	期	
10					
			位		
			1	時	
			2		
		↓	3		
			4		
		↓	5	期	
			6		
			7		
			8		
			9		

美

備考

ハ期間、時期ハ狀況ニ依リ若干変更スルコトアリ
ハ人員ハ一回ノ數トシ若干増減スルコトアリ

裏面白紙

種 類	期 間	人 員	時 期								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
臨時砲台分長	三週間の約29		↑								
臨時砲台砲重隊長	三週間の約27			↓							
臨時砲台砲重隊長	三週間の約54			↓							
臨時砲台中隊長	五十日の約24				↑						
臨時砲台大隊長	三週間の約12				↓						
臨時砲台指揮小隊長	八半月の約18				↑						
臨時砲台分隊長	八半月の約10				↑						
臨時砲台	八半月の約8				↑						
臨時砲台分隊長	二半月の約4				↑						
臨時砲台分隊長	二半月の約8				↑						
臨時砲台分隊長	二半月の約31				↑						
築城自衛戦士	三週間の約29				↑						
電 測	一ヶ月の約50					↑					
重砲隊大隊長	三週間の約9					↑					
独立隊小隊長	三週間の約8						↑				
独立隊小隊長	三週間の約14							↑			
獨立砲小隊長	三週間の約22								↑		
獨立砲中隊長	三週間の約17								↑		
獨立隊中隊長	三週間の約5								↑		
獨立大隊中隊長	三週間の約5								↑		

備考

二期間、時期ハ狀況ニ依リ若干変更スルコトアリ

人員ハ二回、數トシ若干増減スルコトアリ

裏面白紙

陸軍射撃学校集合教育要綱

種 類	期 間	人 員	時 間						
甲種要射科砲	約 6 月	約 20	1	1	2	2	4	6	6
甲種要照空	1 月	6							
甲種要機開砲	1 月	20							
乙種要射科砲	1 月	20							
乙種要照空	1 月	10							
乙種要機開砲	1 月	120							
丙種要射科砲	3 週間	30							
丙種要照空	3 週間	30							
丙種要機開砲	3 週間	20							
丙種要通信	1 月	17							
丙種要通信	1 月	70							
丙種要観測	1 月	40							
丙種要射科砲	2 月	80							
丙種要射科砲	2 週間	15							
丙種要射科砲	2 週間	15							
備 考	一 期間時期は概ね依り若干変更スルコトアリ 二 人員は回数に若干増減スルコトアリ								

一期間、時期ハ状況ニ依リ若干変更スルコトアリ、
二人員ハ回数ノ数トシ若干増減スルコトアリ。

其八

陸軍通信學校集合教育実施要領

種類	期間	人員	時期						
			1	2	3	4	5	6	7
丙種 各兵種學生	約 3ヶ月	約 50							
師團通信隊 長要員	約 3週間	約 11							
師團通信隊 小隊長要員	約 3週間	約 30							
電信隊長補佐	約 3週間	約 62							
電信無線線 小隊長要員	約 2ヶ月	約 14							
電信無線線 隊取扱要員	約 1ヶ月	約 30							
電信無線線 隊取扱要員	約 3週間	約 4							
電信無線線 隊取扱要員	約 3週間	約 12							
固定無線線 隊取扱要員	約 2ヶ月	約 19							
鐵道無線線 隊取扱要員	約 2ヶ月	約 25							
鐵道無線線 隊取扱要員	約 1ヶ月	約 9							
特種無線線 隊取扱要員	約 5ヶ月	約 42							
器材整備 隊取扱要員	約 3ヶ月	約 49							
器材整備 隊取扱要員	約 5ヶ月	約 45							
器材整備 隊取扱要員	約 3ヶ月	約 30							
器材整備 隊取扱要員	約 1ヶ月	約 10							

備考 一、期間、時期、状況、依り若干変更スルコトアリ
二、人員、回数、数、若干増減スルコトアリ

裏面白紙

裏
面
白
紙

361 497

59

Records of Out-going mail

1945

陸軍輜重兵學校集合教育實施要領

陸軍輜重兵學校集合教育實施要領												
種 類	期 間	人 員	時 期									
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
自動車中隊長學生	約十日	約三五		↓							↓	
自動車貨車整備學生	約二ヶ月	約六四			↑	↓						
輜重隊長要員	約二十日	約一四				↓	↑	↓				
輜馬中隊長要員	約二十日	約二五					↓	↑				↓
自動車教官要員	約二十日	約七八					↓					
特種自動車中隊長要員	約四週間	約一六						↑	↓			
歩兵聯隊補給小隊長要員	約一週間	約三〇								↓		↓
備 考	一期間時期ハ狀況ニ依リ若干変更スルコトアリ ニ人員ハ一回ノ數トシ若干増減スルコトアリ											

其十

陸軍機甲整備學校集合教育實施要領

種 類	期 間	人 員	時 期									
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
整備學生上將校	約三ヶ月	約一二五	*	*				↑		↓		
整備學生下士官	約三ヶ月	約二二〇	*			↓		↑		↓		
代燃車學生將生	約五十日	約三〇					↑	↓				
代燃車學生下士官	約五十日	約四〇						↑	↓			

備考

一 期間、時期ハ狀況ニ依リ若干變更スルコトアリ
二 人員ハ一回ノ數トシ若干増減スルコトアリ

陸軍習志野學校集合教育實施要領

種 類	期 間	一回人員	時 期							
			12	1	2	3	4	5	6	7
追撃中隊長要員	約三週間	約35			↑↓		↑↓			
追撃小隊長要員	約三週間	約35	↑↓		↑↓			↑↓		
追撃観測学生	約三週間	約30			↑↓					
追撃分隊長学生	約三週間	約30		↑↓			↑↓			
司令部瓦斯掛要員	約一ヶ月	約10	↑↓		↑↓					
各兵科瓦斯防護 教官要員	約二週間	約33		↑↓		↑↓				
制毒隊長要員	約三週間	約10						↑↓		
制毒隊解毒要員	約三週間	約20						↑↓		

備考

一、時期、期間、状況ニ依リ若干變更スルコトアリ
二、人員一回、数トモ若干増減スルコトアリ

教育

野戦小隊長トシテ必要ナル教育ヲ行ヒ術科特ニ教諭ヲ主トシ學科ハ術科ニ必要ナル最少限トス

口 實施學校幹部候補生隊

第二ノ四参照

教育ハ豫備士官學校ニ準ス

ハ 軍管區教育隊

軍管區司令部ニ隷ス

α 所在地 東部 中部 西部 軍管區内

β 編制 陸軍豫備士官學校及實施學校幹部候補生隊ニ準ス

γ 修學期間 六ヶ月

δ 教育 陸軍豫備士官學校及實施學校幹部候補生隊ニ準ス

三 併校生徒(特別甲種幹部候補生ヲ含ム)ノ銓衡要領

ノ方針

身体検査及學科試験ノ實施ス
凡テ検査

身体検査及學科試験ヲ實施ス

身体検査ハ各師管區司令官之ヲ實施シ合格者ヲ教育總監ニ報告ス

學科試験ハ教育總監之ヲ統一實施ス

3. 銓衡資料

イ. 學科試験ノ綜合成績ヲ主ナル資料トス

學科試験ハ中學校ニ於テ修得シアル事項ニ就キ其ノ學識ヲ檢ス

口. 出身學校長ヨリ提出スル在學成績證明書並ニ市町村長ヨリ提出スル身上明細書ヲ籍

謄本ヲ參考トス

在學成績證明書ニ依リ學力ヲ身上明細書ヲ籍謄本ニ依リ家庭ヲ審査ス

4. 銓衡要領

イ. 志願者全數ニ就キ身体検査ヲ行ヒ入校後ノ學業ニ堪ヘ得ルヲ目途トシテ定メラレタ

ル標準ニ依リ不合格者ヲ排除ス

口. 學科試験ヲ身体検査合格者ニ就キ行ヒ其ノ得点ニ依リ必要人員ヲ取得ス

ハ. 前項取得セシ人員ニ就キ在學成績證明書身上明細書ヲ籍謄本ヲ審査シ學識家庭ニ著

シキ難点アルモノヲ排除ス

ニ. 殘餘ノ人員ヲ學科得点ノ順序ニ採用者トナス

